

【令和6年能登半島地震被災地支援ご報告】

令和6年1月1日に発生した能登半島地震及び9月21日から23日にかけて発生した大雨、岡崎市社会福祉協議会では微力ながらも様々な形で被災地支援に関わらせていただきました。その活動をご紹介します。

1 石材専門職派遣

5月に岡崎市社会福祉協議会職員が協定団体である認定NPO法人愛知ネット様の活動に同行し現地視察をしました。その際に訪れた石川県志賀町にて、「崩れたまま手つかずになっている灯籠を片付けてほしい。」という依頼が多いと知ったことをきっかけに、市内の石材屋さんにお声がけをし、現地での灯籠粉碎活動を行いました。

活動は6月7日～9日の3日間、市内で石材店を営む柴田石材工業所の柴田さんが参加。粉碎した灯籠の数は全てで13基です。依頼者と灯籠をめぐるエピソードに寄り添いながら心を込めて作業をしてくださいました。石の街岡崎ならではの技術を活かしたボランティア活動ができました。

2 被災地支援ボランティアバス派遣

(1) 7月29日～31日

「令和6年能登半島地震被災地支援ボランティアバス」を石川県珠洲市に派遣。

20名の市民ボランティアの皆さんが活動に参加し、店舗兼住宅の家財運び出し及び災害ごみ仮置き場への搬出を行いました。

(2) 8月20～22日

「第2回令和6年能登半島地震被災地支援ボランティアバス」を石川県珠洲市に派遣。

9名の市民ボランティアの皆さんが活動に参加し、民家からの家財運び出し、仮設住宅へのお引越しのお手伝いをさせていただきました。

(3) 10月20～21日

「第3回令和6年能登半島地震被災地支援ボランティアバス」を石川県珠洲市に派遣。

15名の市民ボランティアの皆さんが活動に参加し、地震被害に加えて9月の大雨被害を受けられた民家からの家財運び出しや泥出しを行いました。

参加者の皆さんからは「報道だけでは分からない現状が見られた。」など、活動を通して様々な気づきがあったという感想が多く寄せられました。

以上の活動の一部には赤い羽根共同募金が実施しているボラサポの補助金を活用しています。皆様のご支援のお陰で活動ができたこと、大変ありがたく感じています。今後も岡崎市社会福祉協議会では全国で起こる様々な災害に対してできる支援、また、岡崎市で災害が起きた際の対応力を上げていくための取組みを地域の皆さんと一緒に行っていきたいと考えています。

最後になりましたが、今回の活動にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも、岡崎市社会福祉協議会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

添付写真







災害ボランティア・NPO活動



サポート募金